

月刊[里親だより]

第52号 2014年2月10日(月) (公財)全国里親会

◆日テレドラマ「明日、ママがいない」の動き

ドラマ「明日、ママがいない」は子どもの権利を侵害する内容で物議を醸しています。全国里親会としては、昨年末に書面で日本テレビへ申し入れをしたほか、1月21日(火)、2月5日(水)に、厚生労働省の記者クラブにおいて、他の団体とともに抗議を行いました。

ドラマはフィクションとはしているものの、現在の施設や里親家庭とは大きくかい離しており、偏見や誤解を招くものであると言うのが記者会見での申し立ての趣旨です。

全国児童養護施設協議会では、このドラマの視聴によって4件の自傷行為などの報告があったとしています(一部の施設を対象にした調査)。そのことを受けて、国会でもこのドラマに対して質疑があり、厚生労働大臣は「子どもにどのような影響があるか調査をしたい」と答弁しています。また局としても、全国里親会などに「子どもがフラッシュバックを起こすなどしていれば謝罪したい。ドラマの内容についても子どもへの悪影響がないよう最大限の努力を図る」と言っています。

なお、全国里親会には、多くの里親や施設経験者などから、このドラマに関して意見が寄せられています。

皆さんの声を社会に反映させていくことは当然ですが、子どもの反応などで見過ごせない影響があるなどの場合には、全国里親会までお知らせください。全国里親会では、もう少し様子を見ることとし、一斉調査をすることは今後のドラマの展開等を見てから判断することとします。

◆臨時福祉給付金の動き

4月から消費税の税率が上がることで、低所得者への臨時福祉給付金が支給されることになっており、里親に委託されている子どももその対象となっています。

一人の子どもに対して1万円の給付がなされるため、子ども名義の通帳が必要になります。実施は市町村であり、通知が来ることになります(通知の時期は市町村によって異なる)。昨年12月までに措置された子どもについては対応に問題がないと思われませんが、今年1月以降

に措置された子どもについては手続きに混乱があるかも知れません。児童相談所担当職員に相談しておきましょう。なお給付の方法などが決定した段階で、全国里親会からも地域の里親会を通じてお知らせします。

◆あり方検討部会の開催

1月21日(火)、全国里親会事務所で「あり方検討部会」が開催され、来年度の調査研究テーマ、研究会の立ち上げ、里親信条の見直しなどが議論されました。

里親信条については、現在、原案を作成し地域の里親会などに意見を求めているところです。ぜひ皆さんの声を反映させてください。2月末まで意見を求めています。

なおその後は、3月の理事会・評議員会に諮り、4月実施の予定です。

◆JX-ENEOS 奨学助成、間もなく締め切り

毎年行われている JX-ENEOS 奨学助成の募集が今年も行われ、2月28日が締め切りとなっています。

この奨学助成は高校以上に進学する社会的養護の子どもたちに、進学時に10万円助成されるもので、対象者で、申請された人全員に助成される制度です(申請要件を満たしている必要があります)。

実施要領のパンフレット、申請書用紙などについては、地域の里親会に送付しております。また、全国里親会の

◆ユース振り返り会を開催

2月2日(日)、IFCO大会に参加したユースが大阪市の「e トコ」に集まり、「ふり振り返り会」を開催しました。参加者は14名。

◆今年も(株)セイバンからランドセル天使の羽を寄贈いただきました。



今年も里親会から希望のあったランドセル女の子用65個を(株)セイバンから寄贈いただき、2月10日に届くよう各里親会事務局にお送りしました。
(昨年は46個)